

第三回Latent Dynamics ワークショップ (LD3)

東京大学情報理工学系研究科

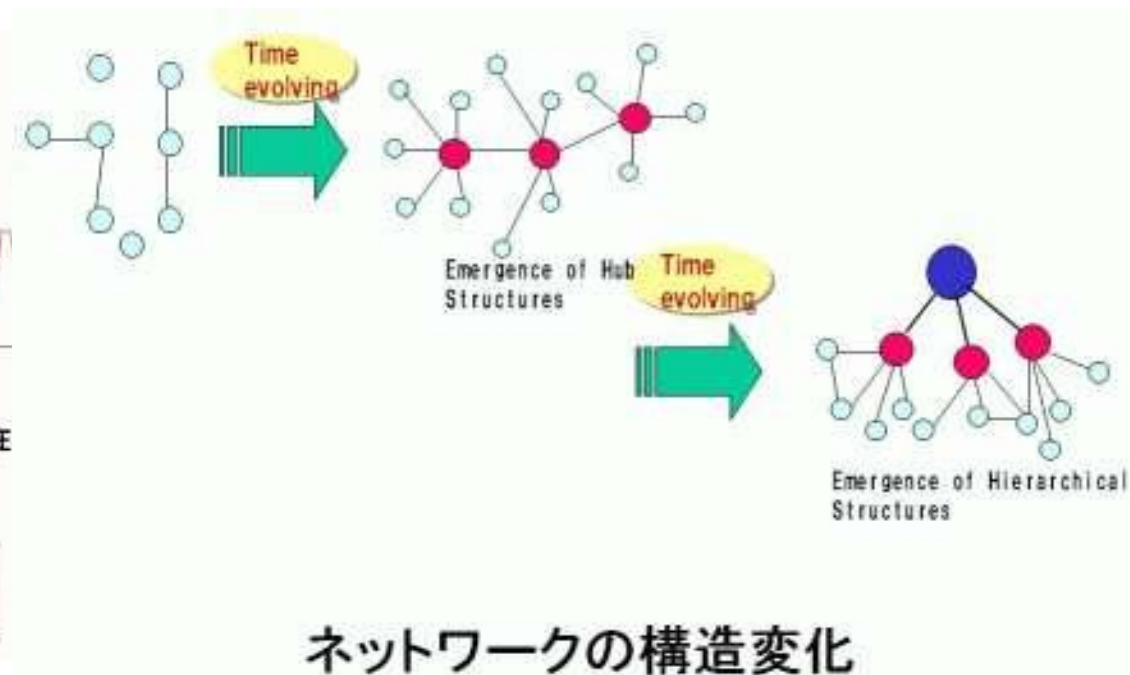
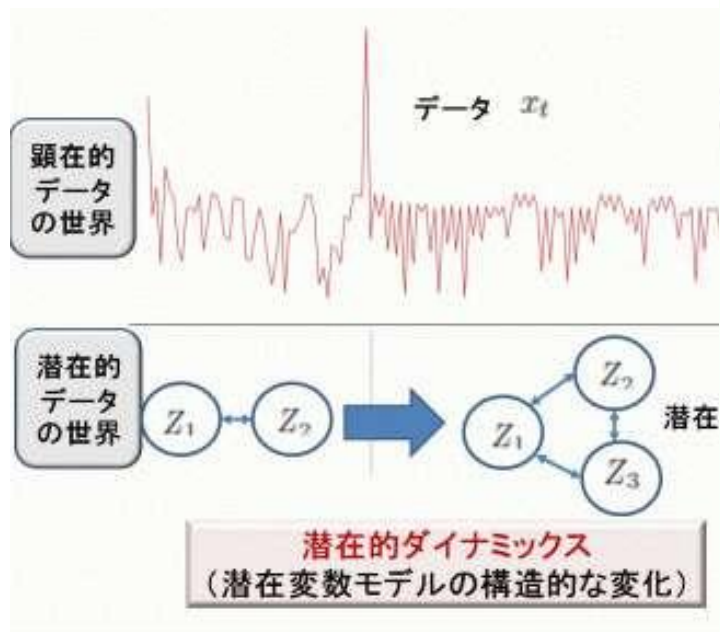
山西健司

2012年9月24日

Latent Dynamics研究とは

潜在的な世界の動きを科学すること

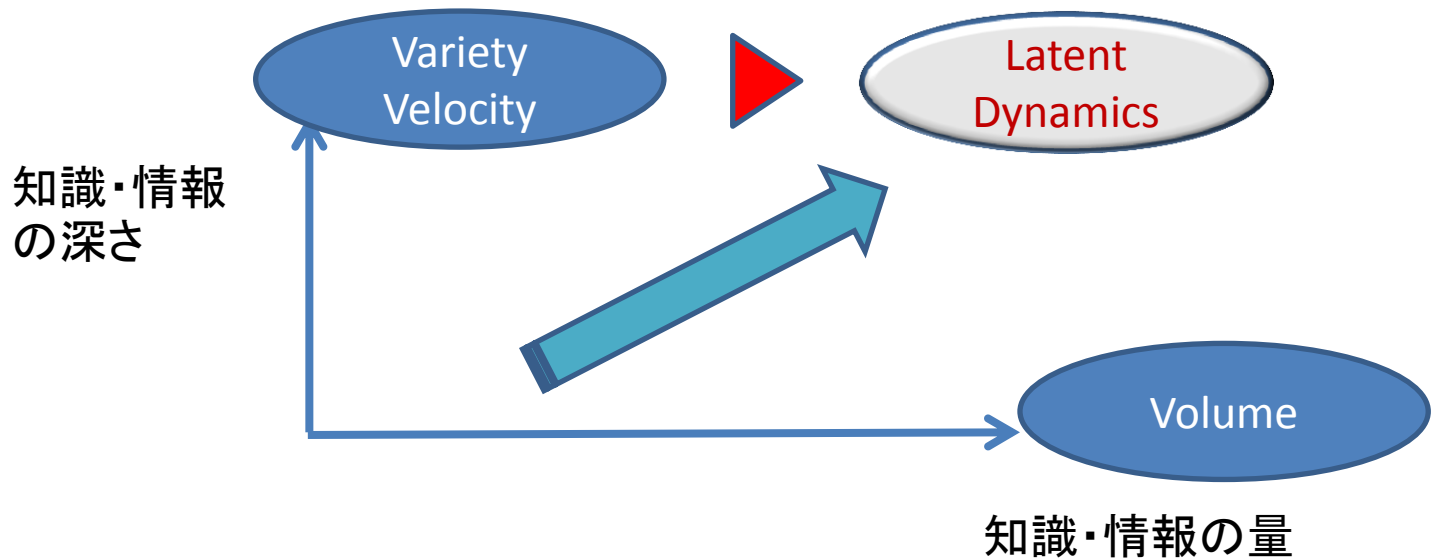
定義は未だない。様々な見方から自由闊達な議論を。



LDとBig Data

3V

- Volume (大量性、大次元)
- Variety (多様性、非一様性、複雑性(潜在性))
- Velocity (動的、非定常、変化)



LD3のあらまし

潜在変数モデルの深化

山崎啓介(東工大): 推定誤差解析
佐藤一誠(東大): 量子揺らぎ

LDフォーマリズムの発展

古川徹生(九工大): 非線形テンソル分解
金澤(東大): 区間定常情報源の学習
田代(阪大): 因果順序推定

インターネット上の現実的LD

笹原和俊(名大): Twitterの集団注意
ダイナミクス

構造推定・構造変化検知手法

平井聡(NTTデータ): クラスタリング
構造変化検知
平山淳一郎(ATR): スパースネットワーク
構造推定

認知科学的・生物学的側面からのLD

大澤幸生(東京大): 都合的ルーレット
塩田千幸(サークルウェイブ): 潜在矛盾モデル
得丸公明(衛星システムエンジニア): 免疫ネットワーク

LD3の発表

招待講演： 6件

40分(講演 35分 質疑 5分)

一般講演： 5件

20分(講演 15分 質疑 5分)